



# 玉津公民館だより

心がかよう 住んでよかったまちづくり



## 新年のごあいさつ

玉津学区長 石田 俊治

### 学区の現況

(令和4年11月30日現在)

- ・世帯数  
1,596 (+4)
- ・人口  
4,352 (+11)
- ( ) は前月比



新年おめでとうございます。玉津学区民の皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのことと同慶に存じます。

昨年は、コロナ禍の状況を鑑み事業や行事については一部を中止としましたが、「学区民のつどい」、「学区民大運動会」をはじめ、数多くの学区事業を実施しましたところ、関係いただいた皆さん方のご理解、ご協力を賜り、且つ多くの学区民の方が参加いただいたことから、一定の成果が得られたことに対して深甚の感謝を申し上げます。

さて、コロナに関して不透明な状況が続いていることから、感染状況をみながらということになります。世の中の動向を注視しながらも事業・行事については実施していくことにしたいと思います。

玉津学区の皆さん方は、人と人、人と地域の繋がりが強く、長年に亘り「お互いさま」「お陰さま」という文化が醸成されてきました。玉津学区では、今日的には、若い世代が増えていることから、新たな日常が求められるところですが、キャッチフレーズであります「助け合う 心が紡ぐ 玉津の未来」のもと、皆さんの力を結集し誰もが安心・安全な暮らしができる玉津を創っていく必要があると思います。

今年の干支は「卯年」ということですが、ウサギは穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」そして跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれています。この玉津学区が、令和5年においてはウサギのように穏やかで派手さはないが、全てにおいて着実に足を地に着けて、鈍足であっても、玉津の未来のため福祉・健康・暮らしの向上を目指して行くことが肝要と思います。

終わりになりますが、この1年、学区民皆様方のご健勝とご安寧を心からお祈り申し上げ新年の挨拶といたします。



## 男女共同参画社会づくり地域研修会を開催

### まちづくり人権・同和部会

12月10日(土) 新型コロナウイルス感染症対策をした中、講師に社福亭モーリーさんをお迎えして「男女共同参画、まだまだ△(さんかく)」をテーマに34名の参加で開催しました。研修会では、腹話術の「げんきくん」と一緒に、男女共同参画は受け身の参加ではなく、いろいろな事業や計画に最初から主体的に参加することが大切だということ、男女共同参画に関する法律が制定されているが未だに女性の活躍の場が少ないことなど、分かりやすくお話いただきました。現代社会の中には、まだまだ気づいていない男女差別があり、意識を変えていかないと人の考え方も社会も変えられないと学習できた充実した研修会となりました。

